



すずらん観賞会の様子 昭和 50 年代以降、観賞用の通路や制限区域を設置して乱獲や踏圧を防ぐ対策が行われるようになった

様々なアイヌ語名が付けられているが、沙流地方ではセタクサ（イヌ・ギョウジャニンニクの葉）などと呼ばれている

重要文化的景観 —重要な構成要素の紹介 11—

すずらん群生地（宿主別区域：牧野・牧野林とすずらん群生地の景観）

しゆくしゅべつ ぼくや
宿主別に所在する町有牧野は現在、和牛生産のための牧草地となっていますが、戦前は軍馬が林間放牧される牧場でした。芽生のすずらん群生地は軍馬生産の下で形成された群落で、その成立には植生の回復以上に放牧圧が高まる「過放牧」^{かほうぼく}が大きく働いています。林の中の放牧形態である牧野林において、有毒草本であるすずらんが残りやすい環境が作られていました。その後、この場所で馬を飼わなくなったこと等によってすずらんが被圧され、一時は数を減らしていましたが、現在では人が草刈り等をしてすずらんの育成を補助しています。

すずらん観賞会は 1957 年に第 1 回が行われて以来、毎年 5 月末～6 月上旬にかけて催されています。約 15 ヘクタールに及ぶ宿主別のすずらん群生地を会場に、多くの観光客が集う平取町を代表するイベントです。この間、1979 年に町花として制定され、1996 年には群生地が町指定天然記念物に、2007 年には重要文化的景観に選定される等の保全施策が拡充されてきました。

2021 年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により観賞会が中止となってしまいましたが、次年度以降しっかりと開催できるよう引き続き群生地の保全に努めていく予定です。

（長田佳宏）



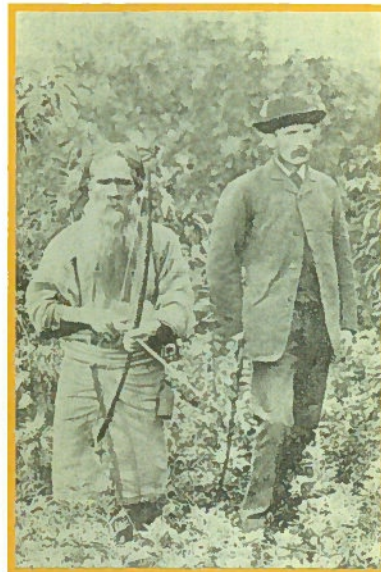
平取町立二風谷アイヌ文化博物館第 27 回特別展 英国聖公会宣教師ジョン・パチラーの足あと

ー伝道活動とアイヌ文化研究ー

10月1日（金）から11月28日（日）まで博物館伝承サロンで特別展を開催します。

ジョン・パチラー（1854－1944）は明治12（1879）年に英国聖公会の宣教師として来道しました。昭和16（1941）年に帰国するまでの間、道内各地の教会や教育施設の設立に尽力、地域住民との交流の中で数々の著書を執筆するなど、多岐にわたる業績を残しました。本展は函館、登別、有珠、札幌、平取を主としたパチラーの活動の足跡を辿り、同氏の伝道活動とアイヌ文化研究の今日的意義を見出す機会とします。また、聖公会をはじめとしたキリスト教関係の資料等から近代の平取の姿を探ります。皆様のお越しをお待ちしております。

（廣岡絵美）



ペンリウク（左）とジョン・パチラー
（ジョン・パチラー 1928『我が記憶をたどりて』）

特別展関連講座

①10月10日（日）講師：早稲田大学非常勤講師 田辺陽子氏

②11月13日（土）講師：北海道博物館学芸副館長 小川正人氏

場所：①、②ともに沙流川歴史館レクチャーホール

博物館（01457-2-2892）へ要申し込み。詳細が決まりましたら、まちだより・博物館ホームページでお知らせします。

特別展 びらとりの学校 うつりゆく学び舎

沙流川歴史館では、10月1日（金）から11月28日（日）まで沙流川歴史館エントランスホールにて、特別展『びらとりの学校 うつりゆく学び舎』を開催します。

平取にはかつて、小学校16校、中学校10校、高校3校、29校もの学校がありました。そのうち21校が閉校となり、現在は小学校5校、中学校2校、高校1校となっています。

平取で学校教育がはじまったのは、明治13年にアイヌ児童の教育を目的とした「佐瑠太小学校平取分校（現：平取小学校）」が設けられてからです。次いで明治25年に二風谷に、明治33年紫雲古津に、明治34年幌池（現：振内小学校）と設けられていきました。

特別展では、昔の写真を中心に平取にあった29校の歴史、うつり変わりを展示にしています。子供のころの懐かしい記憶がよみがえる事と思います。どうぞ来館ください。



※お願い※ 町内の閉校した学校または閉校していない学校でも旧校舎に通われていた方に当時の学校の様子やエピソードをお聞かせいただきたいです。沙流川歴史館（2-4085）までお問合せください。
令和3年9月30日（木）まで受付しています。（佐々木知代）

沙流川歴史館大規模改修工事 ⑤

沙流川歴史館の大規模改修工事は、一般来館者への対応として新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策を練りながら取り進めています。

その一つとしてレクチャーホールの空調設備が新しくなりました。これまでの冷暖房の送風機能に外気循環の機能が追加され、「密閉空間」とならないよう対策が取られています。

また、大規模改修工事としては新しく展示室が備えられ、スロープ展示の照明や壁面が一新されました。以上の改修により、6月末をもって歴史館の改修はほぼ終了し、7月からは展示設備の整備が始まっています。

動線や間隔を考慮しながら整備しますので、歴史館の開館が令和3年度末まで延びる可能性はありますが、開館前10月1日にエントランスを利用した「特別展」の開催を予定しています。一時的な開放になると思いますが、特別展の案内を2ページに掲載していますので、歴史館の完成前の様子を垣間見ながら併せてご観覧ください。（阿部孝之）



空調設備（レクチャーホール）



岩石展示棚の移動（収蔵展示室出口）



特別展示室設営前の常設展示



特別展示室設営中



右：特別展示室・左：スロープ



スロープ壁面設置

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の活用

新型コロナウイルス^{かんせんしやう}感染症対応^{そうせい}地方創生臨時交付金は、国が示した「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和2年4月20日閣議決定)において、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかな事業を実施できるよう設立されたものです。

この交付金は新型コロナウイルス感染症への対応として必要な事業であれば、原則として^{しと}使途に制限はありません。目的としては感染拡大の防止・雇用の維持と事業の継続・経済活動の回復、強靱な経済構造の構築、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現などがあります。

博物館では、令和2年度にこの交付金を活用して音声解説システムを導入し、QRコードで展示を見ながら日本語と英語のより詳しい解説を聞くことができるようになりました。また、受付には券売機を設置し電子マネーでの購入が可能となりました。更にトイレの照明を自動

センサー化にするなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため様々な対策を行っています。

令和3年度には、アイヌ^{でんとうこうげい}伝統工芸の振興^{しんこう}のための支援、飛沫防止のためのアクリルパーテーションの購入、ワイヤレスガイドシステム導入などを進めているところです。

ご来館の際は、手指のアルコール消毒、マスクの着用など感染拡大防止にご理解ご協力をお願いします。

(黒川佳美)



博物館音声ガイド位置図



アイヌコーナーのQRコード

アイヌ語を覚えてみよう ⑪

イランカラナテ！（こんにちは！）

今回は、アイヌ語の音について紹介します。

例えば

カ キ ク ケ コ (ka ki ku ke ko) と ガ ギ グ ゲ ゴ (ga gi gu ge go)

パ ピ プ ペ ポ (pa pi pu pe po) と バ ビ ブ ベ ボ (ba bi bu be bo)

これらいわゆる清音^{せいおん}と濁音^{だくおん}、半濁音と濁音の区別がアイヌ語にはありません。区別がないということは、どちらで発音しても良い（同じ）ということになります。もしアイヌ語だけを聞き育った人が、「カキクケコ、ガギグゲゴ」と誰かが言うのを耳にした場合、同じ言葉を繰り返して2回聞いたように感じる、ということです。これは日本語話者が英語の L と R を聞き分けられないのと同じです。日本語にはここに区別がないからです。言語というものは非常に面白くて、ネイティブ話者には、はっきり違いが聞き取れていても、他の言語話者には聞き分けや、発音が非常に難しい音があるのです。

音の区別がないのだから、どちらか片方だけで書き表せる、ということで現在は「カキクケコ」や「パピプペポ」だけが使われ「ガギグゲゴ」や「バビブベボ」などは、ほとんど使われません。しかし、その文字を使わないからといって、これらの音で発音するのが間違い、ということではないのです。



二風谷コタン周辺は沢名から元々は、**ピパウシ**（カワシンジュガイたくさんいるところ）と呼ばれていました。これは美瑛町の **美馬牛**（ビバウシ）、北竜町の **美葉牛**（ビバウシ）などと一緒で、同じアイヌ語の頭の音を、**ピ** と聞いたか **ビ** と聞いたかの違いだけ、ということになります。

門別、士別、登別、などの **別** もアイヌ語の、川 **ペツ** が語源ですがこれを、**ベツ** としても同じです。**ペツ** という音を漢字で表すのは難しいので、**別** が多く使われ、日本語風に「ベツ」と発音されるようになったのです。

イヤイライケレ ありがとう

この言葉を **イヤイライグレ** と発音してもアイヌ語としては正しい、ということになります。ということで今回は、アイヌ語では区別しないのに、日本語では区別する音についてのお話しでした。

ヤグン バクノ ネ。スイ ウヌガラシ ロー！

（それではここまでです。またお会いしましょう！）

（生涯学習課 関根健司）

金成マツ ～伝道師、ユカラの伝承者～

金成マツは、1875（明治8）年11月10日、幌別村（現在の登別市）で金成ハエリリ、モナシノウクの間に生まれました。アイヌ名はイメカノ、またはイメカヌといひます。

18歳の時、キリスト教の伝道活動をしていた英国聖公会の宣教師であるジョン・バチラーによって洗礼を受けます。

1893（明治26）年、ジョン・バチラーが設立して函館にあった伝道師養成のための愛隣学校^{あいりん}で学びます（妹のナミも数年後入学します）。数年間学んだのち卒業後の1899（明治32）年、ナミと共に平取にあった聖公会教会に赴任し、キリスト教伝道活動に従事します。平取には女性の宣教師の派遣を要請していたジョン・バチラーによって英国聖公会本部から看護師であり宣教師のエディース・メアリー・ブライアントが派遣されていました。マツ・ナミ姉妹のここでの役割はそのブライアントを助けることでした。

平取での活動後、1909（明治42）年には旭川近文の聖公会伝道所^{ちかぶみ}に赴任し、伝道活動を続けます。近文では日曜学校を運営し、女性達に裁縫、編物、読書などをおしえます。ここで姪の幸恵（ナミの娘）、母モナシノウクと暮らしているとき言語学者の金田一京助の訪問を受け、このころから研究者の調査に協力するようになります。

1922（大正11）年に幸恵が『アイヌ神謡集』^{しんようしゅう}の刊行準備の中、19歳という若さで亡くなったあとアイヌ文学の記録保存に尽力します。

母モナシノウクは膨大なユカラ^{ぼうだい}を暗唱^{あんしょう}している伝承者でした。その母から伝承したユカラを筆録していきます。ローマ字で書かれた一万数千頁のノートは、『金成マツノート』と呼ばれ約100冊あり、その一部は金田一京助により翻訳され『アイヌ叙事詩ユカラ集』として三省堂より刊行します。金田一の死後は、北海道教育委員会により翻訳作業が続けられ報告書が刊行されていますが、未訳のノートもたくさん残されています。

1956（昭和31）年、無形文化財保持者^{むけい ぶんかざい}に指定され、紫綬褒章を受賞。
^{しじゅほうしょう}

晩年は故郷の登別で暮らしていましたが、1961（昭和36）年4月6日に86歳で亡くなりました。（久米智江）



金成マツ『先人カード』より



知里幸恵（左）と金成マツ（右）
（大正9年頃）



知里幸恵と金成マツの写真：『銀のしずく降る降る』より

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

【アイヌの人々と近代開拓】

テーマ1：学校(1)

明治時代は本州から多くの移住者が来道し、道内各地を開墾^{かいこん}し定住しました。明治 32 (1899) 年には平取外八箇^{びらとりほか}村戸長役場^{はつかそん こちょうやくば}が置かれました。

北海道開拓は和人だけではなくアイヌの人々も携^きわりました。今号からアイヌの人々が近代平取の発展^{こうけん}に貢献^{しじつ}した史実を開拓財産展示施設のテーマに沿ってご紹介していきます。最初のテーマは『学校』です。

(表 1) 明治時代の平取に開設された学校

開設年	開設時の学校名	現在の学校名 *
明治 13(1880) 年	佐瑠太 ^{さるふと} 小学校平取分校	平取小学校
明治 25(1892) 年	平取小学校特別分教場	二風谷 ^{にぶたに} 小学校
明治 33(1900) 年	紫雲古津 ^{しうんこつ} 簡易教育所	紫雲古津小学校
明治 34(1901) 年	幌池 ^{ほらいけ} 簡易教育所	振内 ^{ふれない} 小学校
明治 35(1902) 年	長知内 ^{おさちない} 簡易教育所	長知内小学校 平成 3 (1991) 年閉校
〃	姉去 ^{あねさる} 簡易教育所 (新冠町)	旭 ^{あさひ} 小学校 平成 7 (1995) 年閉校
明治 36(1903) 年	幌去 ^{ほろさる} 簡易教育所 におい (荷負簡易教育所)	(後の荷負尋常小学校、 貫気別教育所となる)
明治 42(1909) 年	荷負 ^{にがいじんじょう} 尋常小学校	荷負小学校 平成 23(2011) 年閉校
明治 43(1910) 年	貫気 ^{ぬきべつ} 別教育所	貫気別小学校
〃	岩知志 ^{いわちし} 教育所	岩知志小学校 平成 2 (1990) 年閉校

*現在の学校名の前には「平取町立」が付きまます。

荷負尋常小学校は川上サノウクさんほか 63 名の有志が寄付した土地に建設されました。同校は幾度かの改築を経たのち、昭和 62 (1987) 年に新校舎が建設されました。その後児童数の減少により平成 23 (2011) 年に閉校しました。現在校舎は町の開拓財産展示施設として活用され、教育に対する地域住民の思いを受け継いでいます。

(廣岡絵美)

参考: 荷負自治会 1985『郷土誌 におい』、平取町 1974『平取町史』、財団法人アイヌ民族博物館 1997『アイヌ民族博物館伝承記録 3・昔話 上田トシのウエペケレ』、小川正人 1991『『アイヌ学校』の設置と「旧土人保護法」・「旧土人教育規定」の成立』

明治 5 (1872) 年、明治政府は学制を公布、学校制度を下等・上等小学校 (各 4 年)、下等・上等中学校 (各 3 年)、その上を大学としました。平取では明治 13 (1880) 年の佐瑠太小学校平取分校を皮切りに、明治 43 (1910) 年までの約 30 年間に 10 の小学校が設置されました (表 1)。明治 36 (1903) 年 4 月創立の幌去簡易教育所は、通学区域を荷負と貫気別とし、同年 9 月に荷負簡易教育所と改称されました。その後、児童の増加に伴い荷負と貫気別の 2 か所に移転され、それぞれの地に荷負尋常小学校と貫気別教育所が設立されます。



川上サノウクさん (1874～1952、写真右) はアイヌブリ (アイヌの風習) に通じた人物。同氏の 7 人の子どものうち木村キミさんと上田トシさんは、アイヌ口承文芸の伝承者として活躍。写真提供: 川奈野一信氏
*この写真は今後、展示施設で公開予定です。



開拓財産展示施設 見学のご案内



【開館日時】 *変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日 (祝日休館) 9:00～12:00
火・木曜日 (祝日休館) 9:00～16:30

上記以外の日程のご見学についてはお問合せ下さい

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892
または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■特別展

『英国聖公会宣教師ジョン・バチラーの
足あとー伝道活動とアイヌ文化研究ー』
期間:10月1日(金)～11月28日(日)
場所:平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■二風谷アイヌ文化博物館 特別展関連講座

1回目:10月10日(日)
2回目:11月13日(土)
場所:沙流川歴史館レクチャーホール

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により、上記行事が中止もしくは延期になる可能性があります。

詳しくは博物館 HP・歴史館 Instagram・町 HP でお知らせします。



沙流川歴史館

■特別展

『びらとりの学校 うつりゆく学び舎』
期間:10月1日(金)～11月28日(日)
場所:沙流川歴史館エントランスホール
休館日:10月4日・11日・18日・25日
11月1日・8日・15日・22日

■沙流川歴史館講座

期日:未定(決まり次第お知らせします)
場所:沙流川歴史館レクチャーホール

町内の閉校した学校に通われていた方
または閉校していない学校でも旧校舎
に通われていた方で当時の学校の様子
やエピソードをお聞かせいただける方
を募集中!

沙流川歴史館(2-4085)までお問合せ
ください。令和3年9月30日(木)
まで受付しています。

2021年7月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2021年8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2021年9月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

2021年10月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※歴史館は9月末まで臨時休館しています

※7/21～10/31 博物館は休まず開館しています

博物館・歴史館 特別展

シシムカ文化財だより No. 11

2021年7月21日発行

編集・発行/平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Facebook 更新中!



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中!

